

パラグラフ・ライティングの指導例

長久保 礼一

1. はじめに

日本語の段落と英語のパラグラフは大きく異なる。木下(1990:156)によれば、段落とは「長い文章をいくつかのまとまった部分に分けた、その一区切りで、かなり漠然としたもの」である一方、パラグラフは、「文章の一区切りで、内容的に連結されたいくつかの文から成り、全体として、ある一つの話題についてある一つのこと(考え)を言う(記述する、主張する)もの」と定義される。本稿では英作文の入試問題を題材に、学習者に日本語の段落とははっきりと区別されるパラグラフの概念を習得させる試案を提示する。

2. 先行研究

石川(2008:211-228)は英語母語話者コーパスとの比較を通して、CEEJUS(日本人大学生英文エッセイコーパス)中の学習者の過剰、過少使用語を調査した。調査結果として、日本人学習者は過剰使用語の上位50位以内に接続詞が目立つことを報告している。その原因は「[で]や[が]といった曖昧な接続表現を用いて文を緩やかにつないでゆく日本語の母語干渉や、…高校までの教科書の語彙の偏りの影響が考えられる」と分析している。

小林(2008:53-55)はJEFLL Corpusにおける接続詞や接続表現の特徴やエラーを分析し、日本人学習者は、①文頭でbutを使う傾向が高いこと、②逆接ではないbutの使用が目立つこと、③becauseを文頭で用いた場合に、主節をもたない断片文になることが多いことなどを報告している。

日臺(2007:88-94)はJEFLL Corpusに出現する接続詞を調査し、①学年が進むにつれて使用される接続詞が増えること、②全学年を通して最もよく使用される接続詞は1位and、2位butであること、③文における接続詞(and, but, because)の位置を調査し、特にandを文頭で用いる傾向が母語話者

と比べて中高生共に極めて高いことなどを報告している。

3. データと方法

筆者は2008年の慶應義塾大学経済学部の英作文の入試問題を南山高等学校(男子部)の3年生に書かせた(問題はappendixを参照)。この入試問題には、Write at least 100 words in English (one or more paragraphs)と書かれていることに注目したい。生徒は英文読解の基礎知識として英文のパラグラフがどのように成り立つのかに関する知識は有していても、実際に自分で自然なパラグラフを構築するとなると非常に苦勞するようである。以下では、本校生徒の実例から目立つ点を簡潔に述べる。

4. 考察

生徒の書き上げた英文を見ると、総じてそれぞれの文がどのような連結関係にあるのかがわかりにくい。これは接続詞や接続副詞を適切に使えないことが原因であると考えられる。そのことで、パラグラフを成した英文とはいえないものになっている。つまり、連結関係や一貫性が乏しいとトピックセンテンスとの関係を無視した逸脱文の集まりのように見えてしまうのである。AltenbergとTapper(グレンジャー(編), 2008:87)は、Crewe(1990)の「接続語の主たるはたらきは、談話の根底にあるさまざまな関係の解釈を容易にして、あいまいさをなくすことにあります。テキストから推論できる関係は接続語を明示する必要がありません。接続語の使用数が増えても結束性の質が上がるわけではないからです」と述べているが、バランスのとれた適切な接続語の使用は決してパラグラフ内の連結関係を乱すものではない。学習者には、読み手にとって連結関係が明白に理解されないようなときに接続語の使用を奨励したい。

接続副詞 *therefore* の使用は、本校生徒の英作文で広く見受けられた。興味深いのは、どの使用例も文頭で用いられている点である。このように文頭で *therefore* を用いるのは、本校の生徒に限らず、高校生には広く見られるようである。筆者が JEFLL Corpus でどの位置に生起するのかを調査したところ、48例中、45例が文頭で用いられていた。

- (1) I don't have enough money to buy them. Therefore Otoshidama is vely (*sic*) precious for me. (JEFLL 06919 S2)
- (2) Although I want to eat natto, I can't eat before going to school. Because its smell is too strong, therefore I eat that in holiday. (JEFLL 08670 S3)

(1)は文頭での使用例、(2)は文中で使用されているが、これに関しては本来必要ないものである。

このように、*therefore* を文頭で使用するのは日本人学習者に特有なものなのだろうか。英文の書き手は必ずしも英語母語話者とはいえないが、学術雑誌論文コーパス (PERC Corpus 中の Electrical & Electronic Engineering) で *therefore* がどんな統語的振る舞いをするのかを調査した。 *therefore* は 359例中、184例が文頭で使用され、その他は、*and therefore* (例文(3))、*therefore, be* 動詞または助動詞の後、一般動詞の前におく文中(例文(4))で生起している。

- (3) Second, this format is typically used in video coding, and therefore the use of the same, instead of another, format for segmentation will avoid the extra computation required in conversion. (PERC, 30041)
- (4) It therefore conveys the DOA information present in the structure of the velocity field. (PERC, 40024)

筆者は去年の夏、Jennifer Jenkins の *The Phonology of English as an International Language* を読みながら、*therefore* の使用実態に注目したのだが、文頭で用いられる例は皆無に等しかった。自然な英

語としては、*therefore* は文頭で用いる他に、目立たず、論理関係をしっかり示す文中での使い方も学習者に提示したい。

接続詞の使い方以外にも英作文で頻繁に出くわす問題点を述べる。まずは、語彙レベルの問題を紹介したい。和英辞典を引いて語の使用される脈路を無視した結果できあがったものが(5)である。

- (5) For example, mention the nomination of their schools.

A君は(5)をボランティア活動に参加すると、推薦で大学に行くような場合にメリットがあると述べたらしいという提案を意図する文として書いたという。しかしこの場合、*nomination* は明らかに不自然である。語彙レベルの類似例として、「自由に」という意味で 'to freedom' と書いたものも見受けられた。このような誤りに対しては和英辞典の適切な使用法を提示する必要がある。電子辞書を使用する生徒に顕著に見受けられる現象として、辞書を引くときに見出しの第一の語義をみて全て事足りると勘違いしている生徒が非常に多い。英作文では日本語の微妙なニュアンスの違いも汲み取りながら適切な語を選定するので、辞書が適切に使えなくてはならない。

統語レベルでは小林(2008)が指摘している *because* の断片文があった。また、(6)のように3人称単数の *s* が欠けたものも目立った。

- (6) And it bring nice bonus, this is....

高校3年生でも3単現の *s* のつけ忘れや時制の一致がなされていない文、(7)のように修飾句がついて主語と動詞の間が長くなるほど動詞が主語に一致していないミスも広く見受けられた。

- (7) The reason for which they couldn't assemble a number of volunteers are the opening times and....

このような統語上のミスは英文を書き上げたら丁寧にチェックすることでそれなりに防ぐことはできる。生徒に自分の書き上げた英文を何度もチェックして自らの弱点を意識させることが次の予防策になる。

談話レベルにおいては、いきなり 'The first problem is...' と書いた英文があった。パラグラフの構成を理解していれば「生徒が集まらなかった理由は大きく2つ挙げられるだろう」と述べてからそれぞれの理由を説明することができたであろう。談話レベルの問題点を解消するには生徒に読み手の立場に立つことを意識させることが大切である。トピックセンテンスとそれをサポートする文が説明や補足や具体例などでつながっているからこそパラグラフなのだから、トピックセンテンスとの関係を常に意識させることが望まれる。

生徒の書いた英文には色々なレベルのミスが存在するが、ほとんどの生徒に共通する問題はパラグラフ構成である。そこで以下、パラグラフの概念を理解させるための指導例を提示する。

5. パラグラフ・ライティングの指導例

パラグラフ・ライティングを効果的に指導するために、次のようなモデルを提示する。

図1 指導順序

- ① 日本文を基にパラグラフの概念の理解
- ② 英文を基にパラグラフの概念の理解
- ③ 結束性を高めるための語彙指導
- ④ 書き言葉と話し言葉の区別

①に関して、段落とパラグラフを明確に区別し、1つのパラグラフは1つのアイデアから成ることをいくつもの例文を示しながら徹底し、その後、ある程度まとまった文から成るパラグラフを日本語で読んで、トピックと中心文を簡単にまとめる練習から入ることが効果的であるように思われる。というのは、いきなり英文から入ると学習者に心理的負担を与えてしまうからである。戸田山(2002:181-228)はダメな文章を検証しながらパラグラフ・ライティングをわかりやすく説明しているのだから、具体的材料が豊富で指導上、大変有用である。

②の段階では、大井(2008:34)が述べるように、「結束性」と「論理の一貫性」という2点の徹底的理解を促したい。トピック・センテンスに対して、説明、補足、具体例を提示するサポート・センテ

ンスが逸脱していないかを絶えず意識させるように指導したい。

②の「結束性」や「論理の一貫性」を守るためには接続詞や接続副詞を効果的に使用する必要がある。③では、「追加」をするときには、in addition, moreover, also, furthermore などの語彙を、「順序」「原因」「結果」「言い換え」なども同様にいくつかの語彙を紹介し、あらかじめつなぎ語一覧を作成して生徒に配布しておくことで学習の助けになる(上村・大井(2004)に具体的事例が詳しい)。

④の段階では、書き言葉と話し言葉はきちんと線引きしなくてはならないことを伝えたい。日本人学習者は and, but, so を多用するが、このことで文章が幼く映ってしまうことがある。書き言葉にふさわしい語彙を指導する必要がある。村上(2008:161)は(8)のような幼い文も工夫次第で知的意味を変えずに(9)、(10)のようにきちんとした文体になることを述べている。

- (8) I went to school yesterday, and I saw a teacher. He said hello to me, but I didn't like that teacher. So I didn't say hello to him.
- (9) When I went to school yesterday, I saw a teacher I didn't like. He said hello to me, but I didn't return a greeting.
- (10) I went to school yesterday. I saw a teacher who said hello to me. However, I didn't like him. Therefore, I said nothing to him.

きちんとした英文を書く指導は容易なことではない。例えば、語彙は本来語よりもラテン語やフランス語起源の語彙のほうがよいとか、客観性を保つためにできるだけ1人称を使用しないほうがよいとか、重文でだらだらと述べるよりも単文で簡潔なほうがよいなど、文体に対する欲を言い出すときりがない。しかし、高校生への指導としてはあまり多くの情報を提示すると書くことに臆病になってしまうので、臨機応変に進めたいものである。学習の初期段階では、パラグラフに結束性があるかどうか、書き言葉と話し言葉が混じっていないかをしっかりとチェックしてあげることが生徒の学力向上に資すると考え

られる。

6. おわりに

パラグラフ・ライティングの考えは段落と同じではない。それだけに、パラグラフの成り立ちや結束性や論理がどう保たれているのかなどの約束事をしっかりと理解しなくてはならない。そして、何よりも大事なことは、そのような約束事を意識して学習者が主体的に書く作業を行えるような情報を提示することである。今のところ、高校生を対象にしたパラグラフ・ライティングの本格的な教材がないように思われる。今後、そのような教材が出版されることを期待したい。

参考文献

- 石川慎一郎 (2008) 『英語コーパスと言語教育』
大修館書店
- 上村妙子, 大井恭子 (2004) 『英語論文・レポートの書き方』 研究社
- 大井恭子 (編) (2008) 『パラグラフ・ライティング入門』 大修館書店
- 木下是雄 (1990) 『レポートの組み立て方』 ちくまライブラリー
- 小林雄一郎 (2008) 「英作文における接続表現のエラー」『英語教育』7月号, 大修館書店: 53-55頁
- シルヴィアン・グレンジャー (編) (2008) 船城道雄・望月通子監訳, 『英語学習者コーパス入門』 研究社
- 戸田山和久 (2002) 『論文の教室』 日本放送出版協会
- 日臺滋之 (2007) 「接続詞の発達」 投野由紀夫 (編) 『日本人中高生1万人の英語コーパス』 小学館: 88-94頁
- 村上吉男 (2008) 『国際ジャーナリストの英語術』 朝日新書

使用コーパス

Japanese EFL Learner Corpus

中学・高校の日本人英語学習者, 約1万人の自由英作文データをコーパス化したもの。総語数は約67万語。検索ツールは, JEFLL Corpus のweb検索システム(小学館コーパスネットワーク)を

利用。

PERC Corpus

医学, 生物, 物理, 数学, 化学, 通信等の科学技術・理工学分野における, 著作権使用許諾を得た約1,700万語の学術雑誌論文から成るコーパスで, 検索システムは小学館コーパスネットワークを利用。

Appendix

慶應義塾大学経済学部入試問題(2008年)

Situation: Two high school students who want to support a local care home for elderly people put up several posters like the one below in their school. However, only four students responded, so they have not yet been able to start.

高校生ボランティア募集

場 所: 「ABC 高齢者福祉ハウス」

日 時: 毎週日曜日・9時から

人 数: 25名程度(毎回来られる人)

活動内容: 話し相手, 食事の補助,
散歩の付き添いなど

興味がある人は080-XXXX-XXXXに

連絡してください。

Instructions: Suggest what they can do to increase the number of volunteers. Write at least 100 words in English (one or more paragraphs). Make sure that you include each of the following:

- ・ why only a few students responded
- ・ what action (actions) should be taken (具体的に)
- ・ why you think the action (actions) will succeed

There is no right or wrong answer. Pay attention to grammar, spelling, use of connecting words(接続詞), and logic.

(南山高等学校(男子部)教諭)